

子どもといっしょに地域・保護者も学べる学校

かりやど

<https://kawasaki-edu.jp/2/205kariyado>



学校だより 2月号



川崎市立荻宿小学校

1月8日（水）に、令和7年初の朝会が行われました。全校児童と教職員が集い、元気に新年の挨拶をして今年の荻宿小学校が始まりました。今年も子どもたちが安全安心に過ごせる環境を全職員で整えて、対話的な教育活動を進めてまいります。朝会で撮った集合写真を職員室前の廊下に掲示しております。ご来校の際にご覧ください。



訪ねて来られること・訪ねて行くこと

1月上旬、中原区地域教育会議事務局の方が学校を訪ねて来られました。1月19日（日）中原市民館にて行われる、中原区地域教育会議第30回子ども会議の参加者募集のポスターを校内に貼って参加者を募ってほしいとの依頼でした。快く引き受け、当日私も参加してきました。「作ろう！100年ガイドブック」というテーマのもと子どもたちが、100年前の中原区マップから当時の様子を知り、現在の中原区の現状を話し合い、100年後に残していきたい中原区の良さを相談していました。「たんぼぼちゃ」という名前の、中原区内の小・中・高校生からなる子どもたちの運営チームが司会・運営を務めていました。見事な進行ぶりに私は感動しました。本校4年生の児童も「たんぼぼちゃ」のメンバーとして生き生きと活躍していました。この素晴らしい子どもたちのチームを年間通して育てて下さっている中原区地域教育会議の皆様にご敬意を表します。子どもたちの自治力を育てて下さりありがとうございました。

1月20日（月）東海旅客鉄道株式会社（JR 東海）新横浜電気技術センターから8名の社員の方が来校して下さり、6年生の総合的な学習「12歳のわたし」のキャリア教育の授業が行われました。普段学校の横を通っている新幹線の運行を支える設備、電気技術の話をして下さり、その後設備点検に使う工具を身に着けたりレールの実物や運行ダイヤの表を見せての説明を受けたりといった体験学習をしました。6年生の子どもたちは実際に新幹線を動かす技術とそれに携わる社員さんのお仕事ぶりに触れて喜んでいました。自分の将来のキャリアの一つ見通しを持っていました。子どもたちのお礼のお手紙を持って1月25日（土）にJR 東海新横浜駅を訪ねました。授業を実施して下さった新横浜電気技術センターの方に手紙をお渡ししてお礼の気持ちを伝えて来ました。人と人の繋がりが有り難いです。校長 小久保 裕之

自信をもって表現できる子 ～付けたい力を明確にした学習過程と評価～

上記の研究テーマをもとに授業づくりの向上とそれぞれの学年で設定した育てたい子どもの姿の育成を目指し、算数の研究を進めています。1・2年生の研究授業の様子をお伝えします。

1年「大きなかず」 ～しん1年生をむかえるじゅんびをしよう～



1年生 学んだことが自分の生活とつながっていると実感できるように、生活科「もうすぐ2ねんせい」と関連させて単元計画を立てました。来年度の1年生にアサガオの種をプレゼントするために、種の数を数える活動を通して、10のまとまりや図、具体物の操作を行いながら、よみ方、表し方を理解しました。

2年「図をつかって考えよう」



2年生 問題から加法や減法の場面を捉え、○の図やテープ図の良さに気づき、友達に説明したり、一緒に考えたりしながら解きました。分からない時には、ヒントコーナーに行き、画用紙の大きなテープ図を実際に手で動かしながら考えるなど、一人一人自分なりのペースでじっくりと取り組む様子が見られました。

